

# オッズパーク杯

熊本けいりん  
ニュース

## 熊本競輪〔F I〕



5/7 木・8 金・9 土

電投番号 87#

### S級戦展望 地元V狙う上野優太!!

今回のS級戦は平塚で開催された日本選手権競輪(ダービー)直後と言う事で1班は7名。何事もなく全員が出走すれば、そっくりそのまま初日特選のメンバー。展開は全日本選抜競輪でも好走していた自力の林大悟(福岡)には優勝候補筆頭の上野優太(熊本)。3番手を主張するのは四国のベテラン湊聖二(徳島)。中近は福井輪界のホープ岸田剛の自力には、復活が待たれる柴崎淳(三重)。東日本は荒々しい自在型、黒沢征治(埼玉)と千葉支部長職も長くなる人格者、中村浩士(千葉)の3分戦。逃げるのは岸田で、自力主体の林は中団からの組み立て。必ず仕掛ける黒沢と岸田の争いを林が捲り、上野が抜け出す展開。予選を突破して準優に駒を進めるのは、熊本は早くも3度目になる中部の逸材、栗山和樹(岐阜)に127期の超大物、丸山留依(静岡)。九州期待の大砲、梶原海斗

林 大悟 選手  
岸田 剛 選手



上野 優太 選手  
梶原 海斗 選手



A級戦も全国輪旋。北日本で特選にシードされそうなのは前期S級の伊藤奎(福島)、主戦法は目標定めての追い込みですが、目標不在の時は捲りを出す事で今期はS級点オーバー。関東からは、自在から追い込み一本に決めて安定してる丸山直樹(埼玉)。南関東は捲りの高本和也(神奈川)に長い間S級に在籍していた藤田大輔(千葉)。中近は3月久留米の3連勝でS級返り咲きが見えて来た末廣快理(兵庫)には追い込みに転向した小笹隼人(奈良)。瀬戸内は誘導員早期追い抜きで昨年後半は幹旋停止の間練習して戻った自在の吉本哲郎(広島)。パートナーは2班、野村賢(山口)。後ろはベテラン上田学(愛媛)。九州で狙えるのは神開一輝(福岡)のみ。優勝候補の

### A級戦展望 総合力優る吉本哲郎

筆頭は総合力で吉本哲郎。対抗格は勢いで末廣快理。

吉本 哲郎 選手  
末廣 快理 選手



高本 和也 選手  
丸山 直樹 選手



(福岡)。北の大型先行、大川剛(青森)。松山記念で旋風を巻き起こした和泉尚吾(愛媛)。近畿のホープ田中大我(奈良)の自力型。追い込み型で可能性あるのは佐藤和也(青森) 杉本正隆(茨城) 阪本和也(長崎)。この中から決勝に乗るであろう7人を選出するのは難しい事です。調子・展開・実力に地の利で地元の上野優太は当確。落車、それも鎖骨々折明けの林大悟は根性と底力。そして九州からもう一人は梶原海斗。東から乗って欲しいのは話題性もある127期のルーキー丸山留依。中部は栗山和樹・柴崎淳の強力コンビで6名。残る1人はバランス良く瀬戸内から和泉尚吾を抜擢。

予備軍は岸田剛・田中大我の近畿自力型。その気になれば横もやれるガッツファイター黒沢征治。堅実、杉本正隆に大川剛・佐藤和也の青森コンビ。想定した7人の闘いになれば、ラインとして機能するのは九州トリオ。梶原を先頭に林・上野で並び、2段口ケツトであれば恵まれるのは地元上野。中部は栗山の捲りに復調柴崎が押さえ。単騎戦には慣れた丸山は熊本の高速バンクは脚質マッチで展開不問。大胆不敵な和泉も単騎は魅力。なお、林大悟が間に合わず欠場した時に入りたいのは脇本雄太の弟子、岸田剛、そのスピードは魅力で、単騎か中部の前でやるかは興味津々。

# 頑張れ! 熊本

級班	選手名	年齢	期別	B K数
S1	上野 優太	29	113	0
S2	合志 正臣	48	81	0
A1	太田黒 大心	51	74	0
A2	緒方 慎太郎	27	115	13

S級戦出場予定選手 (成績は4月14日現在)

級班	選手名	年齢	府県	期別	B K数
S1	中村 浩士	48	千葉	79	0
S1	湊 聖二	49	徳島	86	0
S1	柴崎 淳	39	三重	91	0
S1	林 大悟	30	福岡	109	6
S1	黒沢 征治	34	埼玉	113	1
S1	上野 優太	29	熊本	113	0
S1	岸田 剛	27	福井	121	9
S2	成清 貴之	52	千葉	73	0
S2	児玉 慎一郎	51	香川	76	0
S2	佐野 梅一	50	京都	78	0
S2	大矢 将大	47	埼玉	81	0
S2	合志 正臣	48	熊本	81	0
S2	山口 貴嗣	47	福岡	82	0
S2	渡辺 十夢	45	福井	85	0
S2	稲垣 裕之	48	京都	86	0
S2	高津 晃治	46	岡山	87	0
S2	守谷 陽介	45	岡山	87	0
S2	金成 和幸	47	福島	88	0
S2	丸山 貴秀	45	秋田	89	0
S2	高塩 譲次	42	栃木	90	0
S2	金澤 竜二	40	福島	91	3
S2	岸澤 賢太	39	埼玉	91	0
S2	福島 栄一	42	香川	93	0
S2	佐々木 翔一	39	佐賀	93	0
S2	成松 春樹	40	佐賀	93	2
S2	佐藤 和也	46	青森	95	0
S2	伊藤 勝太	38	愛知	95	0
S2	太田 龍希	25	埼玉	117	2
S2	杉本 正隆	40	茨城	96	0
S2	横関 裕樹	38	岐阜	99	0
S2	土屋 壮登	39	埼玉	101	0
S2	山本 紳貴	41	千葉	107	0
S2	竹内 翼	34	広島	109	3
S2	瀬戸 栄作	32	長崎	109	3
S2	河合 佑弥	31	東京	113	5
S2	朝倉 智仁	26	茨城	115	4
S2	田中 大我	27	奈良	115	7
S2	村上 竜馬	30	広島	115	0
S2	阪本 和也	30	長崎	115	0
S2	中村 隆生	25	栃木	117	11
S2	和泉 尚吾	29	愛媛	117	2
S2	佐藤 竜太	25	愛知	119	5
S2	疋田 力也	25	愛知	119	3
S2	徳田 匠	29	京都	119	10
S2	大川 剛	27	青森	121	6
S2	神尾 敬冬	26	静岡	123	5
S2	梶原 海斗	26	福岡	123	10
S2	栗山 和樹	28	岐阜	125	3
S2	丸山 留依	20	静岡	127	6

A級戦主力選手 (成績は4月14日現在)

級班	選手名	年齢	府県	期別	B K数
A1	上田 学	54	愛媛	69	0
A1	吉本 哲郎	46	広島	84	0
A1	藤田 大輔	41	千葉	91	0
A1	丸山 直樹	40	埼玉	93	0
A1	小笹 隼人	36	奈良	105	0
A1	伊藤 奎	27	福島	115	0
A1	神開 一輝	32	福岡	119	0
A1	高本 和也	29	神奈	121	1
A1	末廣 快理	27	兵庫	121	4

## スピードチャンネル実況中継予定

5月7日(木)	5月8日(金)	5月9日(土)
——	——	690ch
——	——	<10:00~15:00>
690ch	——	691ch
<10:00~17:00>	——	——

## インターネット実況中継予定

KEIRIN.JP



熊本けいりん公式 YouTubeチャンネル



熊本けいりんホームページ



## 開門時間

3日間とも午前9時45分

## S級戦決め手別 1、2着

差	し	逃	げ	( 3 4 回)	
差	し	差	し	( 3 3 回)	
差	し	ま	く	り ( 2 9 回)	
ま	く	り	ま	ー	く ( 2 9 回)
逃	げ	ま	ー	く ( 2 1 回)	
ま	く	り	差	し ( 1 9 回)	
差	し	ま	ー	く ( 1 6 回)	
逃	げ	差	し ( 9 回)		
ま	く	り	逃	げ ( 7 回)	
ま	く	り	ま	く	り ( 6 回)
逃	げ	ま	く	り ( 1 回)	
逃	げ	逃	げ ( 0 回)		

(2025年1月~2026年3月)

## バンク情報

## ◎上野 優太 (熊本) 29才 113期生

高校(国府)までは野球に打ち込んだのは全て競輪選手になる為に身体能力を鍛え、倉岡慎太郎(59期)に弟子入り。エリート揃いの113期に合格するや高校野球部の後輩上田亮弥、同門で1学年下の嘉永泰斗に負けじと練習したのがこれまでS級2度の優勝。GⅢ優出で競輪祭に出場したのを機に点数はウナギ昇りで108点台は全て実力。主役として狙うは人気に応える優勝。

## ◎林 大悟 (福岡) 30才 109期生

選手だった父孝成(59期)の意志を引き継ぎ、109期生としてデビューしたサラブレッドはひたすら練習に打ち込みS級1班に定着。2月当地開催の全日本選抜に出場する迄に躍進。これは実弟慶次郎(111期)昂(119期)と切磋琢磨してる成果。不安があるとすれば3月末の別府ナイターで落車(鎖骨々折)だが、一ヶ月以上あれば充分間に合うと想定。上野優太と決める自力戦。

## ◎柴崎 淳 (三重) 39才 91期生

同門の兄弟子、浅井康太(90期)に追い付き追い越せて中部輪界を代表するスターとして記念・特別で結果を残した天才スプリンターも今やベテラン。度重なる落車で体はボロボロの状態でも最低限の練習はやれており、1班堅持。平塚ダービーに出場出来なかったのは残念でも久々のVチャンスには違いなく、初日特選は岸田剛、準優は栗山和樹に行ける有利。

## ◎丸山 留依 (静岡) 20才 127期生

現役の父啓一(74期S2)の闘う姿に憧れて高校(静岡北)から自転車競技をスタートさせるや、スプリント種目等でタイトルを総ナメにして127期に一発合格、ゴールデンキャップに輝き、在所成績7位で卒業するやチャレンジは順調に特別昇班。A級1・2班戦でも勢いは衰えず11場所走り6度の優勝を引っ提げ特別昇級でS級入り。熊本は新人戦で走って居り、狙うはS級での優勝。

## ◎栗山 和樹 (岐阜) 28才 125期生

自転車競技の名門、朝日大学時代はスプリント種目で結果を残したのに敢えてプロ入りせず一般企業に就職したのは、これ全て社会勉強をしたかったからで、その甲斐あって125期生としてデビュー後は公私共に若手の手本となり順調に成長。S級特進直後の熊本戦で初勝利を挙げるや、奈良で初優勝。昨年平塚ヤンググランプリ3位が実力。熊本は早くも3度目なら不安はゼロ。勿論、優勝しか狙わない。

## ◎梶原 海斗 (福岡) 26才 123期生

祐誠高校から中央大学に進み、一時はナショナルチーム入りを打診された超エリートは落車の大怪我もあって実現しなかったが、鍛え抜いた肉体から放たれるパワーは強烈無比。A級はとんでもないハロタイムを記録してS級に上がり、壁に当たった時期もあったが自ら打破、それが昨年12月松阪のFⅠ初優勝。ダイナミックな戦法で決勝進出は最低限のノルマ。

## ◎岸田 剛 (福井) 27才 121期生

グランプリスラマー脇本雄太は高校の先輩と言う事で弟子入り。脇本勇希は同門で高校の同級生。将来の事を考えて国立鹿屋体育大学に進み、優秀な成績を残し121期生としてデビュー。練習の強さは師匠だけでなくSSの先輩寺崎浩平の上を行くとの評判。落車続きで昨年11月から走ってなかったが、1月末に復帰するや立ち直りは急。熊本新バンクは初めてだが高速バンクなのは脚質マッチ。

## 次回開催案内

※♥はガールズを含む開催

●熊本FⅡデイ開催♥ルーキーシリーズ2026

5月29日(金)・30日(土)・31日(日)

●熊本FⅡミッドナイト♥

6月18日(木)・19日(金)・20日(土)

●熊本FⅡモーニング

7月13日(月)・14日(火)・15日(水)